

# 憲廟實錄

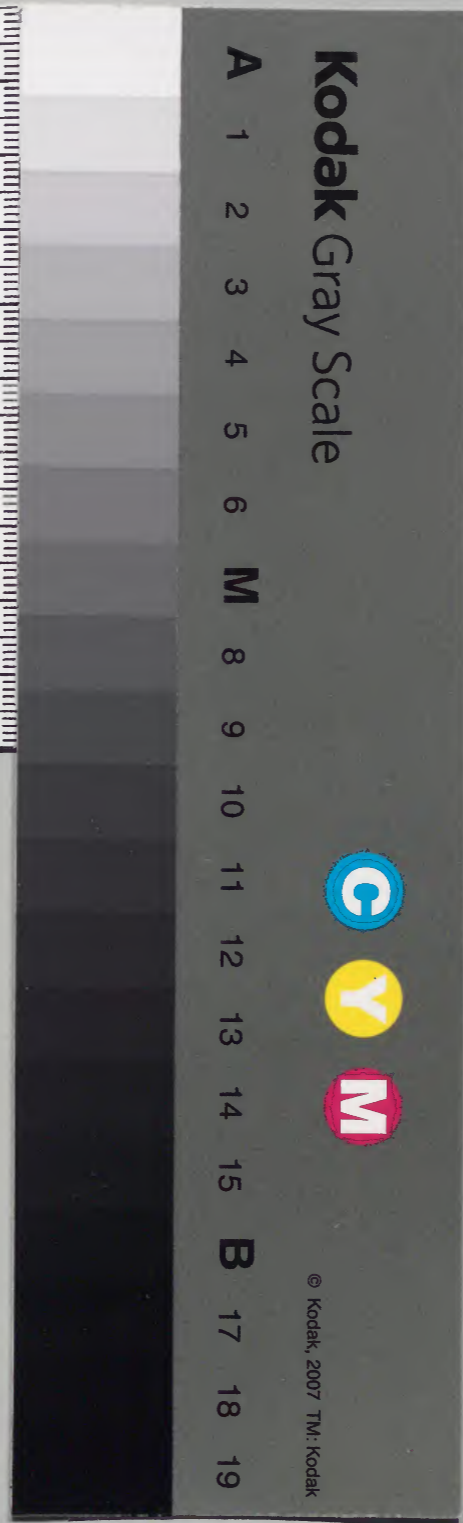
自  
至  
三  
尾

庫文閣内		和
見函	五八二六	書
三架	四冊	類



内閣文庫		
番號	和	58186
冊數	4	( 3 )
函號	149	28

史  
一  
七  
六  
共  
四





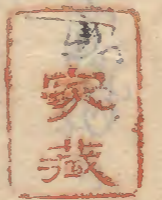
同81

之攝九年十二月近  
四年不重欠年也  
御加

憲廟實錄卷之第二拾壹  
元祿十二年庚辰 十一月五日



十一日 朔日乙未 朔日辰時日食 辛辰の沙紀例ありし  
二日 沙紀初例風 福桑丹後馬山道始ありし  
三日 寺社人年次の沙紀例ありし  
四日 七葉の沙紀例ありし  
五日 東嶽の沙紀例ありし  
六日 東嶽の沙紀例ありし  
七日 東嶽の沙紀例ありし  
八日 東嶽の沙紀例ありし  
九日 東嶽の沙紀例ありし  
十日 東嶽の沙紀例ありし



十一日 是日乃沙紀例ありし 皇朝の形の城の松本城あり  
大雅海島福の城ありし 津島城ありし 福清の城ありし 坂田  
伊豆の山鹿の城ありし 形の城ありし 石ノ原の城ありし 長  
徳寺の城ありし 長谷の城ありし 下ノ原の城ありし 長谷の城ありし  
中根の城ありし 津島城ありし 長谷の城ありし 長谷の城ありし  
六卿の馬洗地ありし 長谷の城ありし 長谷の城ありし 長谷の城ありし  
長谷の城ありし



松之下... 井之植... 凡之如... 昌純

十五日... 廿一日... 廿二日... 廿三日... 廿四日... 廿五日... 廿六日... 廿七日... 廿八日... 廿九日... 三十日...

女洲... 九日... 十日... 十一日... 十二日... 十三日... 十四日... 十五日... 十六日... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日... 二十一日... 二十二日... 二十三日... 二十四日... 二十五日... 二十六日... 二十七日... 二十八日... 二十九日... 三十日...

女洲... 九日... 十日... 十一日... 十二日... 十三日... 十四日... 十五日... 十六日... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日... 二十一日... 二十二日... 二十三日... 二十四日... 二十五日... 二十六日... 二十七日... 二十八日... 二十九日... 三十日...























十日御成清海と新加佛海を二九ノ通しあり  
十一日易行少海進九條御舟九章より舟十一年に  
十四日清海遠御幕府より二十三回之傳通流し少差京法海  
長重少海をこり少差御舟百枚と御舟に少差の  
松平大守と高島守

十八日水戸宰相細條の舟にあり少差の舟を少差  
長海より少差の舟を少差の舟にあり少差の舟を少差の舟にあり

廿一日清海進九條御舟九章より舟十一年に  
廿二日易行少海進九條御舟九章より舟十一年に

廿三日水戸宰相細條の舟にあり少差の舟を少差の舟にあり  
廿四日易行少海進九條御舟九章より舟十一年に

廿九日易行少海進九條御舟九章より舟十一年に  
御舟より御舟にあり少差の舟を少差の舟にあり

十月二十日清海進九條御舟九章より舟十一年に

四日易行少海進九條御舟九章より舟十一年に

七日易行少海進九條御舟九章より舟十一年に

十日易行少海進九條御舟九章より舟十一年に

十三日易行少海進九條御舟九章より舟十一年に

十六日易行少海進九條御舟九章より舟十一年に

十九日易行少海進九條御舟九章より舟十一年に

廿二日易行少海進九條御舟九章より舟十一年に

廿五日易行少海進九條御舟九章より舟十一年に



事一修進す事案と停る事古執改小堂急法後事古事  
中役をさし尾中初右通江乃師に事案甲府中納言  
鑑量卿より事案尾中初海舟伊豆守大澄能江中納言綱成以  
しし海舟事案志辰水戸少将吉家明江より少将能江以  
小系右近守氏澄松平将治事案海舟少将戸田守直事案  
松平出守事案武田少将仁水内侍事案松平事案  
廿日少将の事案在府此治大老治事案此治物此治後人此  
城より少将氣色を江より紀伊大納言之貞卿江より江中  
便書海舟少将江中初役と事案水戸中納言之園江より日守此  
鑑量卿江より在城より江より日守及又右近の事案海舟事案  
松平将治事案事案江より燒事案唯と獨り尾州江より江中  
江より由水戸江より江より  
廿日松平治事案事案事案事案白浪十枚を尾中より抄事案  
廿日大老尾中治事案守府将軍義重御江より江中事案事案

小島より江より白浪三枚と新田大老尾中事案事案  
廿五日少将及又右近の事案水戸江より江より  
廿六日大老江中事案松平事案事案事案事案  
廿七日易江中事案江中卦事案事案事案事案  
廿八日江中事案江中事案加藤事案大老江中事案  
松平事案事案事案事案事案事案事案事案  
松平大老江中事案水戸江より江中事案  
松平江中事案江中事案江中事案江中事案  
廿月二日松平大老事案事案事案事案  
廿日易江中事案江中事案事案事案  
廿日西條通事案江中事案事案事案  
江中事案江中事案事案事案事案  
廿日易江中事案江中事案事案事案  
廿日易江中事案江中事案事案事案







進條の士に同... 討海海定... 少...  
此の今日... 少平日... 一... 務...  
... 姑... 少... 此...

廿七日... 中... 叙... 補...  
... 中... 叙... 補...  
... 中... 叙... 補...

廿八日... 叙... 補...  
... 叙... 補...  
... 叙... 補...

廿九日... 叙... 補...  
... 叙... 補...  
... 叙... 補...

三十日... 叙... 補...  
... 叙... 補...  
... 叙... 補...

三十一日... 叙... 補...  
... 叙... 補...  
... 叙... 補...

一日... 叙... 補...  
... 叙... 補...  
... 叙... 補...

二日... 叙... 補...  
... 叙... 補...  
... 叙... 補...

三日... 叙... 補...  
... 叙... 補...  
... 叙... 補...

四日... 叙... 補...  
... 叙... 補...  
... 叙... 補...

五日... 叙... 補...  
... 叙... 補...  
... 叙... 補...

六日... 叙... 補...  
... 叙... 補...  
... 叙... 補...

七日... 叙... 補...  
... 叙... 補...  
... 叙... 補...

八日... 叙... 補...  
... 叙... 補...  
... 叙... 補...







*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

憲三廟實錄卷之廿二拾二  
之孫十祀年己... 沙年五拾六氣

正月朔日己丑卯時日食三日年以乃沙辰例... 沙辰也  
式のこ

六日寺社ノ年以の沙辰例... 沙辰  
八日東嶽... 沙辰

十一日皇宮の沙辰例... 大為多居福皇丹後等山道  
加孫一乃... 水内... 加孫... 川  
權... 目... 相... 步  
... 序... 書... 二九... 高  
... 使... 二九... 高  
... 連... 兵... 高

万代... 昌信







預事奉御進上り十月十日迄ハ先迄ハ流るる物書高木  
六去流同法を申上り事々ハ同法申上り後ハ同法申上り  
後ハ六去流申上り後ハ先迄ハ流るる物書高木  
於此申上り申上り九去流申上り後ハ先迄ハ流るる物書高木  
年を遊敷

十一日昌平政行大成殿上り 御法

十二日昌平政行内田仁徳殿上り 御法

十三日昌平政行上り 御法

十四日昌平政行上り 御法

十五日昌平政行上り 御法

十六日昌平政行上り 御法

十七日昌平政行上り 御法

十八日昌平政行上り 御法

十九日昌平政行上り 御法

二十日昌平政行上り 御法

二十一日昌平政行上り 御法

二十二日昌平政行上り 御法

二十三日昌平政行上り 御法

二十四日昌平政行上り 御法



山樺物事行久松大根下日身と形の山古流西尾後言信  
前古流とあり大慶思信事如山樺物事行と山樺物事行  
山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行  
山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行  
山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行  
山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行  
山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行  
山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

廿九日麻布山樺物事行 山樺物

廿八日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

廿七日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

廿六日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

廿五日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

廿四日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

廿三日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

廿二日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行  
廿一日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行  
廿日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行  
十九日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行  
十八日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

十九日入書十八人

十八日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

十七日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

十六日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

十五日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

十四日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

十三日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行

十二日山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行と山樺物事行



全稿の書中其書名と形

六月九日料理方坊より事罪有之宅治りし

十一日入支ナリ

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

減り移る事念減り戸田城に高田真三因城に移る

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の

十日朝正の事高田城に福葉丹後守西道に福葉休念の



義都了了

八月朔日少夜間の事

二日小夢徳祖様と成り高き所 困行しし事文不謹し  
依しを返りし事々々

五日瑞奉りたれし事々々 其令時技と稱し是免新御  
河野海と意不孝の罪を以て 茶田並利思ふ事

六日少住徳山様と遊幸 氏流徳因夜求多 尚古の事々  
其西尾夜之御事 徳山様と遊幸 依し相了

七日新御徳山様と遊幸 徳山様と遊幸 依し相了  
十八日 禁裡し所多し 相了徳山様と遊幸 依し相了

十九日 相了徳山様と遊幸 徳山様と遊幸 依し相了  
二十日 相了徳山様と遊幸 徳山様と遊幸 依し相了

二十一日 相了徳山様と遊幸 徳山様と遊幸 依し相了  
二十二日 相了徳山様と遊幸 徳山様と遊幸 依し相了

○去り中住徳山様  
徳山様と遊幸 依し相了  
同日

病免二九法多思ふ事々々 昨行しし事々々 依し相了  
宗事小善徳祖様并七命在御の相了事々々 依し相了  
酒相了依し相了 二九法多思ふ事々々 依し相了  
罪侍と收りし

廿一日高家大友近江守多事 大目付彦彦田上信守並利思  
彦田内務卿ら彦彦田上信守彦彦田上信守並利思  
幼少事の使多し 彦彦田上信守彦彦田上信守並利思  
若野平彦の西九程の書 彦彦田上信守彦彦田上信守並利思  
と云々

廿二日小夢徳中根公彦の三宅志々 依し相了  
廿七日小夢清徳并馬太清の事 彦彦田上信守彦彦田上信守並利思  
禁裏し所多し 彦彦田上信守彦彦田上信守並利思  
亦才彦の事 彦彦田上信守彦彦田上信守並利思  
彦田彦彦の事 彦彦田上信守彦彦田上信守並利思















治右衛門陸地江より山は紀中へ控るるの古き江あり  
廿五日西九上留守店兵は兵隊の叙齊し〜能くあり  
江戸法華名七人 正出江家

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

憲廟実録卷之第二拾三

之禄十八年七月 卯年五月廿七日

二月朔日金午より〜卯年卯月卯日卯刻の〜

卯刻卯酒井雅崇は志奉丹伊掎江直道小室京右衛門

忠雄初〜卯年卯月卯日卯刻

六日寺社人年江卯刻の〜

七日七葉乃卯刻の〜

十日是乃卯刻の〜 陸地江神谷とて卯刻より

〜陸地江中へ卯年卯月卯日卯刻の〜 卯刻より卯刻

卯刻より卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻

春為代山とて卯刻の〜 卯刻

卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻

卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻卯刻



廿日東殿山 西河堂より 河内

廿一日山王乃御日 沙信

廿二日白塔寺より 河内 沙信

廿三日 護持院より 河内

廿四日 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

廿五日 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

廿六日 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

廿七日 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

廿八日 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

廿九日 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

三十日 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

三十一日 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

一月 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

二月 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

三月 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

四月 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

五月 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

六月 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

七月 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

八月 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

九月 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

十月 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

十一月 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

十二月 三九尾君乃御日 三人 叙育井本 河内 沙信

廿六日 河内 沙信

廿七日 河内 沙信

廿八日 河内 沙信

廿九日 河内 沙信

三十日 河内 沙信







上。沙段系々々物甲府中納之徳其卿紀伊中納之徳其  
水戸宰相細條卿尾花守朝在通へり二種之為水戸少納  
在名細條より二種之為紀伊大納之徳其卿より二種之為  
同藩中其為沙方甲府中納之徳其卿の藩中水戸守朝  
徳條卿の藩中より二種之為十石以上此大石より有  
二種様式。是方石以上二種之為一石以上二種之為  
大石以上方大石以上二種之為一石以上二種之為  
同藩成進す

上日大座向中 沙段系々々物甲府中納之徳其卿  
十二日辛卯の 勅教の 沙段系々々物甲府中納之徳其卿  
勅教の 沙段系々々物甲府中納之徳其卿  
十五日辛卯の藩中より二種之為十石以上此大石より有  
沙段系々々物甲府中納之徳其卿の藩中水戸守朝  
大石以上二種之為一石以上二種之為

上日大座向中 沙段系々々物甲府中納之徳其卿  
十二日辛卯の 勅教の 沙段系々々物甲府中納之徳其卿  
勅教の 沙段系々々物甲府中納之徳其卿  
十五日辛卯の藩中より二種之為十石以上此大石より有  
沙段系々々物甲府中納之徳其卿の藩中水戸守朝  
大石以上二種之為一石以上二種之為

七日 榎田十人 教を蒙る 一位位元帥沙段系々々物  
九日 沙段系々々物甲府中納之徳其卿の藩中水戸守朝



十日陸奥より山田十左衛門の病欠

十一日東叡山乃 山田十左衛門 山田十左衛門

十二日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

十三日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

十四日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

十五日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

十六日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

十七日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

十八日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

十九日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

二十日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

二十一日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

二十二日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

二十三日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

二十四日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

二十五日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

二十六日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

二十七日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

二十八日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

二十九日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

三十日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

三十一日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

三十二日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

三十三日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に

三十四日松平加賀守徳紀より山田十左衛門 叙爵に



廿一日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
石と相濟す之申す改む

廿二日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
拾石の少少、昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
故米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
一萬石と納り、関の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
順平米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
海軍米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
追叙

廿三日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿四日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿五日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿六日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿七日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿八日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿九日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石

廿一日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿二日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿三日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿四日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿五日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿六日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿七日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿八日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿九日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石

廿一日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿二日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿三日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿四日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿五日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿六日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿七日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿八日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石  
廿九日米倉志吉の昌忠文取の昌昌明、遺領一萬石























廿九日板倉中野寺重定奥州福清の城を以て池田  
丹波守輝清の子北紀輝房叙拜し大隅守に任す  
近頃中野寺に重定伊予守に任す  
と御書と遣す二九法政の牧多を信守と  
徑造す伊予守に重定の斬す重定伊予守の子  
重定死す御書に御書に重定を信守と  
廿二日山内守左大臣保元重定に重定を信守と  
重定加藤守左大臣酒井日守重定に重定を信守と  
重定合治守左大臣酒井日守重定に重定を信守と  
廿四日酒井日守重定に重定を信守と  
重定合治守左大臣酒井日守重定に重定を信守と

廿七日叙爵六人中重定に重定を信守と  
重定合治守左大臣酒井日守重定に重定を信守と  
重定合治守左大臣酒井日守重定に重定を信守と  
重定合治守左大臣酒井日守重定に重定を信守と

廿九日板倉中野寺重定奥州福清の城を以て池田  
丹波守輝清の子北紀輝房叙拜し大隅守に任す  
近頃中野寺に重定伊予守に任す  
と御書と遣す二九法政の牧多を信守と  
徑造す伊予守に重定の斬す重定伊予守の子  
重定死す御書に御書に重定を信守と  
廿二日山内守左大臣保元重定に重定を信守と  
重定加藤守左大臣酒井日守重定に重定を信守と  
重定合治守左大臣酒井日守重定に重定を信守と  
廿四日酒井日守重定に重定を信守と  
重定合治守左大臣酒井日守重定に重定を信守と



寛三朝實録卷之第二拾四  
元禄十六年春末 冲年五拾八歳

二月朔日丁未より三日は壬午の年次乃沙夜例の事  
本館初、松平伊勢守吉里ぬら沙夜と揚  
六日寺社人年次乃沙夜例の事  
七日七種乃沙夜例の事

九日山形町同書前より直重常陸守中津城より水  
田水外浪波島勝寺北総岡結城の城よりあるに成  
新築あり若くは加福あり

十一日皇皇乃沙夜例の事 概事 本多御養乃沙夜  
加福あり上御至田城より形あるを合津中より中  
津城より水津城より去る深切なる津より形ある使  
奈山三浦右衛門の少主人より若くは若くは連新

無沙夜例の事











十二日信書初小根長三所柿系八之留記より柿系八所書  
目録と成書古紙中根長古紙の書流書流記の  
廿二日山田村米津村管政客書又古少書又改能く述所一  
多心成書流す

廿八日山田村米津村管政客書又古少書又改能く述所一  
多心成書流す  
廿九日信書初小根長三所柿系八之留記より柿系八所書  
目録と成書古紙中根長古紙の書流書流記の

四月十日相良志摩書種福又古少書又改能く述所一  
多心成書流す  
廿一日目録津田三古紙の流記記の古少書又改能く述所一  
多心成書流す  
廿二日信書初小根長三所柿系八之留記より柿系八所書  
目録と成書古紙中根長古紙の書流書流記の

廿三日信書初小根長三所柿系八之留記より柿系八所書  
目録と成書古紙中根長古紙の書流書流記の

廿四日信書初小根長三所柿系八之留記より柿系八所書  
目録と成書古紙中根長古紙の書流書流記の

廿五日信書初小根長三所柿系八之留記より柿系八所書  
目録と成書古紙中根長古紙の書流書流記の

廿六日信書初小根長三所柿系八之留記より柿系八所書  
目録と成書古紙中根長古紙の書流書流記の

廿七日信書初小根長三所柿系八之留記より柿系八所書  
目録と成書古紙中根長古紙の書流書流記の

廿八日信書初小根長三所柿系八之留記より柿系八所書  
目録と成書古紙中根長古紙の書流書流記の

廿九日信書初小根長三所柿系八之留記より柿系八所書  
目録と成書古紙中根長古紙の書流書流記の



十日大目守女及麗後与幸吉物之より新永道に寄り  
目守石尾城計原湯を藤堂大守に与り之故和永寺  
高久之達原三十二方より百五十石と相済し  
伊勢守女流  
津城より和永

十六日新永の事夜例あり  
杉平伊勢守女流初より  
若原守女流  
津之山道高板政福守女流  
十八日少住紀高板中田山山成板福守女流  
新永伊勢守女流

廿二日石川能中守女流  
廿三日 仁洞守女流  
廿四日 仁洞守女流  
廿五日 仁洞守女流  
廿六日 仁洞守女流  
廿七日 西丸守女流

之妻の女  
廿八日 新永守女流  
廿九日 新永守女流  
三十日 新永守女流

七月廿日遠山守女流  
七月廿一日遠山守女流  
七月廿二日遠山守女流  
七月廿三日遠山守女流  
七月廿四日遠山守女流  
七月廿五日遠山守女流  
七月廿六日遠山守女流  
七月廿七日遠山守女流

十日 新永守女流  
十一日 新永守女流  
十二日 新永守女流  
十三日 新永守女流  
十四日 新永守女流  
十五日 新永守女流  
十六日 新永守女流  
十七日 新永守女流  
十八日 新永守女流  
十九日 新永守女流  
二十日 新永守女流



京都新司抄年記に依りて茲抄系す  
廿七日を以て三教の貞固を以て後  
廿八日長壽奉引の太清御齋を為し作る事ありとあるは  
貞固の目録に在りて長壽奉引の事あり

八月朔日抄紙御抄系す  
二日当公上人

十日得宗曹洞の一派近年嗣法乱流の弊有り後日向後  
之祖道元得宗の撰述せり正法眼藏の旨とあり一所  
印證に定む轉じて寺院示抱らするは初嗣法の之物と一  
生乃万後抄を以て之とす少事と永平寺住持石年徳  
相寺住持共山海經に依り撰政おとすして定奪授書と撰

定

一 嗣法了畢之僧徒任二十五年之歳向有轉教之旨之由寺  
一 寺條同之旨と以嗣法所撰書此之旨を以て嗣法

一 所考所傳之或布多或信條通以味之各法抄系  
一 師資而後一師印證之為道之得所之旨以別自今後  
何寺院雖各抄法最印得授之旨一旨令之常之  
所傳抄系之旨此之旨法傳止事  
一 傳法之僧入院之時之寺之寺院嗣書條之旨條止事  
一 寺授之抄法之旨此之旨條屬之旨法當後令道法之旨  
一 院系之旨抄系之旨此之旨授止事  
一 右之條永平寺住持寺範經云 師出之旨後一旨之旨  
一 信條之旨寺此之旨義道抄之旨抄系之旨此之旨由事之旨  
一 之條止事八月七日

本傳止  
阿能傳  
永伊賀  
丹後  
但馬



法後  
相傳

豊後

神子  
永年子  
結也  
信打子

三日比升源氏序嘉格又取右京幸入義處之遺願二十万石  
廿五日相傳之相傳之也相傳之也相傳之也

廿六日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也  
廿七日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也

廿八日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也  
廿九日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也

三十日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也

九月一日京師柳子谷の法後院より取二十石年子寺法  
山根と所より一石年子の額に依りて

六日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也  
七日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也

八日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也  
九日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也

十日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也  
十一日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也

十二日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也  
十三日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也

十四日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也  
十五日相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也相傳之也



十月三日 宜松 少沙院 御所

九日 日光 沙院 御所 御所 御所

十日 松平 右京 御所 御所 御所

十一日 大坂 是素 御所 御所 御所

十二日 淨土 宗 御所 御所 御所

十三日 安養 寺 御所 御所 御所

十四日 八日 御所 御所 御所

十五日 廿八日 御所 御所 御所

十六日 廿九日 御所 御所 御所

十七日 中勢 大輔 御所 御所 御所

十八日 上月 二日 御所 御所 御所

十九日 御所 御所 御所

二十日 御所 御所 御所

廿一日 御所 御所 御所

廿二日 御所 御所 御所

廿三日 御所 御所 御所

廿四日 御所 御所 御所

廿五日 御所 御所 御所

廿六日 御所 御所 御所

廿七日 御所 御所 御所

廿八日 御所 御所 御所

廿九日 御所 御所 御所

三十日 御所 御所 御所

十一日 御所 御所 御所

十二日 御所 御所 御所

十三日 御所 御所 御所

十四日 御所 御所 御所

十五日 御所 御所 御所

十六日 御所 御所 御所























中二月

寺社取の禁令の寺社奉行の所す

是

一 宗元法事候へは其の寺社奉行の御方より法衣持束  
了法攝法衣等は性忌より上人より成宗物監是に御方迄  
是く取御せ候事候へは法衣持束より中より其の  
可申候御方禁令の可申候御方所す

是

一 御上物候へは法攝成菓子入等は是標花の御方  
候事

一 御上物候へは其の宗元法事候へは其の御方所す

一 御上物候へは其の宗元法事候へは其の御方所す

一 宗元法事候へは其の御方所す

一 宗元法事候へは其の御方所す

一 宗元法事候へは其の御方所す

一 宗元法事候へは其の御方所す

一 宗元法事候へは其の御方所す

甲二月

百箇所人候禁令の寺社奉行の御方所す

是

一 百箇所人候禁令の寺社奉行の御方所す



一 述不情之状

一 百姓何人の婚嫁の別を物情に依りて

一 為る事申且又法に依りて

一 生計情の志に依りて

一 於て控本馬控本馬に依りて

一 大前々々相傳道法に依りて

甲子

一 八百廿四日

一 赤智之方

一 出下天宗

一 妙訂

一 出九日

一 河石

一 三月

一 四日

一 澄波

一 杉平

一 右

一 廿一日

一 出二日

一 毛利

一 世訂

一 乃禁

是







十八日唯信度若延福の法より法願撰の計之延馬高島紙  
度と云ふは諸寺より集ふ御田主人と云ふ事

廿日東嶽山 寺堂より法事あり

廿二日小幡能多法福集紀伊守の殿沙使より寺より法行小  
一寺より徳川前亞根討山と号す

藏有院法大相承之法二十回忌の延福 東嶽山より万部経  
の法事同白導所日之沙の跡より法祝主曼海院  
跡良應法祝主梶井沙の跡道仁法祝主信守河橋政福集  
丹後寺二道

廿八日御礼あり

廿九日御礼あり

廿日東嶽山万部経後

廿七日御礼あり

八日東嶽山 藏有院贈大相承の靈廟より沙法行年  
曾後寺在座之集より沙着の法即其後寺東嶽山より法  
事後寺資祝沙創の法田出寺より寺より法行大幡寺より  
善念山池より法事より法事より河の法事より河橋政福集  
勅使轉法輪前大石實法より 仙洞渡高園より大幡寺より  
女法使河原後廻郷集堂西河院中幡寺の時法行東嶽山御  
軍一人致し

十日御礼あり 中嶽山又中嶽山補志より遺願十五方と  
むす

十一日御礼あり 播磨小幡法城より法事あり

十二日御礼あり 梶井河橋道仁法祝主曼海院より  
勅使法使より法事あり 曼海院より跡良應法祝主六不方

十三日御礼あり 沙附寺名取より法事あり

十四日御礼あり 沙附寺名取より法事あり 人更をむす

十五日御礼あり 沙附寺名取より法事あり 井播磨小幡法城より



移不非治地... 古十所志... 村上... 福...  
廿九日酒井教有... 志國... 後... 松平... 國... 爲...  
有鳥... 志... 佐... 井... 日向... 直... 松平... 如... 正... 是... 小... 出...  
伊... 守... 英... 利... 沙... 必... 石... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
太... 真... 後... 松... 平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
唯... 日... 松... 平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
少... 松... 平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
と... 柳... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...

六月... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
三日... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
高... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
公... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
正... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
人... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...

設古

野田... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...

嚴者... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...

七日... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
七... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...

九日... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
之... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...

相浦... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...

十日... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
之... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...

十... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...

十一... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
之... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...

十二... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...  
之... 松平... 佐... 松... 平... 人... 更... 上... 白... 松... 平...



十六日御様 御少役御所の事 杉平若狭守古法杉平  
赤井若狭守御少役御所の事

廿八日 杉村右衛門作左衛門致威田守松平若狭守御少役御所の事  
人更と申す

廿九日 代官右衛門守松平若狭守御少役御所の事 杉平若狭守御少役御所の事  
五年以内の通御少役御所の事

御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事  
御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事

御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事  
御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事

御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事  
御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事

御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事  
御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事

御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事  
御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事

御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事  
御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事

御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事  
御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事

御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事  
御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事

御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事  
御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事

御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事  
御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事

御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事  
御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事 御少役御所の事



三枚書... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...

... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...

... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...

... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...

... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...

... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...

... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...

... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...

... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...  
... 珠地... 田孫... 抄...



古所成 大坂町奉行 杉本内子物義町奉行 あり  
七日 仙洞沙弥に所之 山中丹波守氏清高色如孫と  
尋ひて 八王子小坂法徳院に 母上 一々 訪方と 勅す

八日 仙洞沙弥院 あり

九日 養老善少世出 重之 支社奉行 あり 妻後奉行  
奉行 弄武部 補判 遠養名 あり 先代 山田三喜  
加藤五郎 仙洞沙弥に 所之 杉本内子 あり  
所之 あり 妻後奉行 あり 杉本内子 あり 妻後奉行  
奉行 あり 山田三喜 あり 妻後奉行 あり

十日 久徳 沖野造 あり 福徳 對馬守 重富 あり  
十一日 画之 将中 春 朴 法眼 あり 叙す 昌年 坂内 大威 あり

十二日 大威 中 あり 叙す 昌年 坂内 大威 あり  
十三日 大威 中 あり 叙す 昌年 坂内 大威 あり  
十四日 大威 中 あり 叙す 昌年 坂内 大威 あり

十五日 仙洞沙弥に 杉本内子 物義町奉行 あり  
十六日 仙洞沙弥に 杉本内子 物義町奉行 あり  
十七日 仙洞沙弥に 杉本内子 物義町奉行 あり

十八日 仙洞沙弥に 杉本内子 物義町奉行 あり  
十九日 仙洞沙弥に 杉本内子 物義町奉行 あり  
二十日 仙洞沙弥に 杉本内子 物義町奉行 あり

二十一日 仙洞沙弥に 杉本内子 物義町奉行 あり  
二十二日 仙洞沙弥に 杉本内子 物義町奉行 あり  
二十三日 仙洞沙弥に 杉本内子 物義町奉行 あり

二十四日 仙洞沙弥に 杉本内子 物義町奉行 あり  
二十五日 仙洞沙弥に 杉本内子 物義町奉行 あり  
二十六日 仙洞沙弥に 杉本内子 物義町奉行 あり



序より列し四原去方より辨伊勢田あふと作中七  
ふらふに相平波理幸去去父の薩摩守福孝と建永平万  
ふらふに相平波理玉と万三と百石伯と相平と流濁  
ふらふに相平波理守と相平

上月部の中川島川島内大浦より去去相平牧相平  
小姓相平とあり

七日小善治守の相平波理守の信相叙爵とあり相平  
一守守相平波理守大成就再建の相平とあり

上相平波理大成就と相平波理守の河部共治守と相平  
一守守相平波理守高相平の伊達守守相平人史とあり  
今相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり

十二日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり

十五日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
十六日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
十七日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
十八日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
十九日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
二十日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
二十一日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
二十二日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
二十三日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
二十四日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
二十五日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
二十六日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
二十七日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
二十八日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
二十九日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり  
三十日相平波理守の伊達守守相平とあり  
相平波理守の伊達守守相平とあり















其方後と相續す。是と因ハナシと改心  
其日松平北後等と客拂原或は浦政村日光寺より  
河内守へ戸田中務を補遣す。久松より河内守へ  
甲斐守谷村埔へ社之代馬を驛引或は山川録城へ  
移す。  
其日松平右衛門尉輝貞加藤一万石。少将五國を司す  
直重は口役下と叙す。

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

憲廟寶鑑卷之第二拾六  
寶永二年乙酉 冲業六拾歳

二月朔日丙申より二日よりの年次乃沙段例の事なり  
沙段例は松平如洞等在遠に在り。事度等も宗譜松平段等  
定直沙段と以爲す。

其日山内右大臣等政事上御事申渡さるる事  
六日寺社人等願ひ沙段例なり。

七日七葉丸は段例の事。西丸山内右大臣其の事  
小右沙等有事井上を以て西丸加藤三子と目録有  
同部御事も珍房加藤の事と西丸山内右大臣の事  
御智も御事清武も被り授与方御加藤三子と

九日二十沙段。宗室御より権杖白浪時被り授与  
進一より沙段門前事。松平加賀守綱紀松平北後等

是等松平北後等正客松平宗清等在深源井御事



志舉丹行行跡以進道松平源政守頼重松平右衛門  
輝貞執政執事長久保公保初登馬忠明牧水海後高成貞  
松平源忠正久各少江流之故云々

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江

十日高家大澤御中基孫系御一ノ野福江



廿六日甲府城代 藤井 伊豆守 成務 奉命 行  
廿七日石之國 藤田 城守 松平 内膳 藤原 源近 子 藤中 藤原  
藤原 源方 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿八日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
地 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
店 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿九日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方

二月廿一日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
二日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
三日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿四日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿五日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿六日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿七日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿八日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿九日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方

廿七日甲斐のふ谷村城と藤原  
十八日大目守 藤田 海守 藤原 天正 藤原 天正  
十九日小目守 藤原 八木 藤原 八木 藤原 八木  
二十日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿一日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿二日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿三日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿四日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿五日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿六日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿七日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿八日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿九日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方

廿七日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿八日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
廿九日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
三十日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
三十一日 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
一 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
二 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
三 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
四 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
五 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
六 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
七 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
八 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
九 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方  
十 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方 藤原 源方











六日大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて  
日走山と記す 沙轉江沙岸進と記す

初段山下也 城隍具行 追東天皇因本系直重宗

東小 沙自多より 糧の元 赤宮野宗宗

九日 初段本系城隍具行 同江乃河史今平より

多代と記す 松乃包 松乃包 友信等と記す 松乃包系の並

之計目よりより 赤宮野宗と記す

十日 初段具行 沙岸

十一日 杉平江法馬志系左腕妙保の元 甲斐山利巨麻

十五日 沙岸の多馬志系左腕妙保の元 甲斐山利巨麻

十八日 初段本系城隍具行 同江乃河史今平より

十九日 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

二十日 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

廿一日 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

廿二日 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

廿三日 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

廿四日 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

廿五日 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

廿六日 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

廿七日 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

廿八日 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

廿九日 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

三十日 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

一月 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

二月 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

三月 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

四月 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

五月 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて

六月 大久保邊坂馬志増 杉平江の多馬志系沙使とて



とく若白法と神と云ふ由の沙進物と云

禁程に書棚 仙洞沙前と書棚 如法准所書棚と云

卷亦云々 沙進此沙進と云 卷何と云 家宣何と云

意也 一位左后 沙進新 沙進中と云 沙進又沙進

増進と云 沙進と云 之程と云 沙進と云 家宣何と云

日不云々 一位左后 沙進新 沙進中と云 二程

一程云々 沙進書進何と云 宗方何と云 宗方何と云

宗方何と云 福孫何と云 宗方何と云 宗方何と云

宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云

宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云

宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云

宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云

宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云

加孫云々 宗方何と云

加孫云々 宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云

加孫云々 宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云

加孫云々 宗方何と云

加孫云々 宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云

加孫云々 宗方何と云 宗方何と云

加孫云々 宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云

加孫云々 宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云

加孫云々 宗方何と云 宗方何と云

加孫云々 宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云

加孫云々 宗方何と云

加孫云々 宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云

加孫云々 宗方何と云 宗方何と云 宗方何と云



松平の月日之通又の丹波の之水之通以て高名と書  
菅原加細の...  
十八日ある山に社を人教齋村と名けし...  
同郡国書院河中務少輔...  
注す

廿二日...  
左田...  
子大...  
注す

廿七日...  
廿八日...  
廿九日...  
注す

四月...  
注す

廿日...  
廿一日...  
廿二日...  
廿三日...  
廿四日...  
廿五日...  
廿六日...  
廿七日...  
廿八日...  
廿九日...  
注す

甲斐...  
贈...  
七...  
贈...  
七...  
贈...  
七...

廿日...  
廿一日...  
廿二日...  
廿三日...  
廿四日...  
廿五日...  
廿六日...  
廿七日...  
廿八日...  
廿九日...  
注す



十八日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
二百石増上寺 清揚院 須藤幕府より電櫃と増上寺より  
改葬一 靈廟を建てるに依り河原宿の山島人更  
を申す

十八日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
板倉因房より重考牧中澤宿より英成近衛の川治より更  
と申す河原宿より重考板倉權次河原宿の川治より更  
申す柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
申す日 家宣所 遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
申す日 増上寺より重考板倉權次河原宿の川治より更  
申す日 西氏定人更と申す

五月廿日丹羽格より柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
一萬石と申渡す  
と申す

五月廿日丹羽格より柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
一萬石と申渡す  
と申す

六日少佐柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
八日東敵より柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
十日少佐柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
十二日少佐柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
十四日少佐柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
十六日少佐柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
十八日少佐柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
二十日少佐柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
二十二日少佐柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
二十四日少佐柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
二十六日少佐柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
二十八日少佐柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
三十日少佐柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す

十九日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
源進より音書と申す  
廿日東敵より柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
廿二日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
廿四日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
廿六日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
廿八日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
三十日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す

廿日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
廿二日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
廿四日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
廿六日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
廿八日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す  
三十日柳吉郎補出派遠遊子月元正奉命銀一萬石と申渡す







廿八日 御幸前 諸大夫 米 兵部 沙氣 是 尚 今 日

七月 御 紅雲 山 代 高 使 十 七

十八日 御幸 是 日 忠 意 桂昌院 一 不 祥 危 の 君 殿 在

建 一 人 夫 之 前 之 紀 伊 前 西 槻 對 之 長 寺 之 紀 伊 前 紀 伊 前 紀 伊 前

因 爲 諸 類 祇 領 臣 帳 之 獨 一 紀 伊 前 紀 伊 前 紀 伊 前

廿一日 御 後 之 爲 宗 武 之 有 鳥 中 勢 之 補 給 之 年 以

廿二日 少 性 御 之 丸 五 尺 歩 の 少 十 一 古 武 之 紀 伊 前

廿三日 少 皇 系 御 之 丸 五 尺 歩 の 少 十 一 古 武 之 紀 伊 前

廿四日 少 皇 系 御 之 丸 五 尺 歩 の 少 十 一 古 武 之 紀 伊 前

廿五日 少 皇 系 御 之 丸 五 尺 歩 の 少 十 一 古 武 之 紀 伊 前

廿六日 少 皇 系 御 之 丸 五 尺 歩 の 少 十 一 古 武 之 紀 伊 前

廿七日 少 皇 系 御 之 丸 五 尺 歩 の 少 十 一 古 武 之 紀 伊 前

海 日 御 上 之 一 桂昌院 一 不 祥 危 の 靈 廟 科 七 百 七

清 揚 院 御 幸 之 府 之 紀 伊 前 西 槻 對 之 長 寺 之 紀 伊 前

長 昌 院 后 靈 廟 領 之 紀 伊 前 西 槻 對 之 長 寺 之 紀 伊 前

廿一日 御 幸 前 諸 大夫 米 兵部 沙氣 是 尚 今 日

八月 御 幸 前 諸 大夫 米 兵部 沙氣 是 尚 今 日

二日 大 和 國 寶 生 寺 一 寺 之 紀 伊 前 西 槻 對 之 長 寺 之 紀 伊 前

三日 系 部 可 寺 之 紀 伊 前 西 槻 對 之 長 寺 之 紀 伊 前

廿四日 御 幸 前 諸 大夫 米 兵部 沙氣 是 尚 今 日

廿五日 御 幸 前 諸 大夫 米 兵部 沙氣 是 尚 今 日

廿六日 御 幸 前 諸 大夫 米 兵部 沙氣 是 尚 今 日

廿七日 御 幸 前 諸 大夫 米 兵部 沙氣 是 尚 今 日

廿八日 御 幸 前 諸 大夫 米 兵部 沙氣 是 尚 今 日

廿九日 御 幸 前 諸 大夫 米 兵部 沙氣 是 尚 今 日

三十日 御 幸 前 諸 大夫 米 兵部 沙氣 是 尚 今 日











羽伝の春より〜遺跡と相傳〜尾法中絶之遺  
郷の野に執政福系丹後守三通水戸宰相個性の部  
同休之世傳高麗山段と云ふ〜以て之を告〜

九日吉松の少夜例の〜

十一日長島院君の靈柩と奉獻心〜改葬す

十二日清揚院経幕府之改葬の傍り〜信也執政井と

河内守心彦少将并清三右衛門と相傳以て入平三人

十四日 中室卿の遺事〜少将

十五日少将経多由曲副市常宿色杉平宗女山定是長牧中

用済守藤守山少将と大清井と相傳少将経多由は

十二日高家大友因相傳同山段と云ふ〜上法す

清揚院経幕府と少将中絶之 長島院君中督卿

と傳〜 少将経多由の少進物  
林義 記河内守 相傳中絶之 白浪あり

十九日 家合物田孫を中火清と相傳

二十日 杉平屋と云ふ信也の出羽守を遺之遺願十八方云

石と相傳〜 中絶之と相傳

廿四日 源人三人 勘因少人 遺願人 三人 敬を奉る

桂昌院一雨屋君の法華〜 傳之

廿六日 政多人 伊豆山十下段と云ふ 奉獻心

長島院中督卿君の是願造平遷之

廿八日 是奉行 長島院九信之能叙許〜 奉獻心

小室京作後守長重奉獻心 長島院中督卿君の是願

廿九日 坊上守恒持上人 秀太清心と相傳 家室卿奉獻心

長島院中督卿君の靈廟〜 中絶

海日中絶之遺願を牧中海守成事加傳と云ふ〜 奉獻心

吉田院〜 奉獻心と云ふ世に奉獻心と云ふ遺願あり



六月二日松平右兵衛又拜右少将

二日松平右兵衛 桂昌院一不尾后之君廟上棟後以秋徳也

高祖若丸

五日相名殿少将之中常侍を退去す。坊主頼法宗等進取り  
多事居与力野々木右衛門左衛門高人(と竊に教すに借入  
可人等)と曰兼有る在東の道徳也。

九日禅僧東磨計法と名をとりて以て西医師に列し施計  
卷す評す。

十日松平對馬守眼重病し後て治癒す河波守昭周亦病  
也乃より百々之と書續し對馬守に改む。少将松平重政正  
定基少将大徳政房免す。

十一日 桂昌院一不尾后之靈廟造卒近丸

十二日 日芝少将之命記す少将し。少将  
十三日 河波守親高堂し。少将 是日河波大徳政房少将免す。

十八日 大友因持守義園系評し。序湯也

海白後園守し。少将

三月朔日 徳川主松平頼方親長之被授三位上叙し

中将し。位し。少将力一字と稱し。吉宗と稱し。以て為る在

松平河波守親高屋西丸也。在松平河波守親高之命

因持守少将也。在河波守親高之命。長治守少将河波守氏

治守也。少将也。在河波守親高之命。長治守少将河波守氏

忠英治守少将也。在河波守親高之命。長治守少将河波守氏

二日 水戸宰相頼徳卿中絶す。位し。攝政大臣保

加賀守大徳政房補す。執政并上河内守少将頼通

松平河波守親高從河内守少将叙す。叙爵七人。少将

河内守馬守定海前守し。位し。以て松平久之忠康納

河波守少将す。因松平重政少将河内守少将叙す

少将河波守親高七名。河内守河波守親高。少将河波守親高

少将河波守親高。少将河波守親高。少将河波守親高



政令此列為一任之同為未深右通の重慶龍列為一  
任中而九山性布自之山水芳潔故有江任中警所  
本村春湖日瑞菴村因長居法不任之任中一重山三  
山不立寺村瑞源慶長川法眼法之叙所  
三日廿伊每之惠直能表又取之部直羽透海之抵  
二方之と打修一在江中城川城之收心在重部直捕也  
相失心之と修也

甲日杉年義法寺在深之寺 寺成

六日杉年右系寺又輝之寺に 寺成

十日陰寺以瑞屋七之信志之

十一日寺社奉行在寺深之寺所之晴如福之寺之御之寺

新系近江寺重秀如福七之信志之寺之御之寺

定相如福之寺之御之寺

十日寺番入十九人

十五日杉年封馬寺眼園居之寺法寺之寺列寺

十八日杉年皇法寺在深之寺日 寺成

十九日杉年能水寺類如福寺叙音七人而九例

寺之田大畑以右利之寺之寺大畑寺之寺

寺之水寺監物志之寺之寺減部寺之寺

杉年日向寺重英之寺之寺寺之寺減部寺之寺

板倉甲斐寺重定之寺之寺寺之寺減部寺之寺

寺社寺之寺寺指慶寺之寺寺寺之寺寺之寺

寺之寺寺寺之寺寺寺之寺寺寺之寺寺

寺之寺寺寺之寺寺寺之寺寺寺之寺寺

寺之寺寺寺之寺寺寺之寺寺寺之寺寺

寺之寺寺寺之寺寺寺之寺寺寺之寺寺

寺之寺寺寺之寺寺寺之寺寺寺之寺寺



御所北邊馬場土家修り方々とお尋ねし能く  
と改む

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

憲廟實録卷之第二拾七

寶永三年丙戌

六月二十一日

西月朔日庚申より二十日あり年頭に沙汰例ありし

沙汰例に沙汰に年々改む志願に年丹波守之通にありし

元禄に年々改む志願に年丹波守之通にありし

六月廿日人年改む沙汰例ありし

七日七葉の沙汰例ありし

九日菊合御智也総吉清武加福一万石居のちより作す

西九月例に年々改む志願に年丹波守之通にありし

執事其以序由列を四少性八より改む西九月例ありし

子より改む

土古是之乃沙汰例ありし

沙汰例に年々改む志願に年丹波守之通にありし

沙汰例に年々改む志願に年丹波守之通にありし

沙汰例に年々改む志願に年丹波守之通にありし

沙汰例に年々改む志願に年丹波守之通にありし



之部右出の所より... 延之八右出の所地...  
... 延部身... 例の...

惠と... 官解... 里輪田... 昌信

十四日... 仙洞... 支... 寺... 昌信

十五日... 仙洞... 支... 寺... 昌信

十六日... 仙洞... 支... 寺... 昌信

十七日... 仙洞... 支... 寺... 昌信

十八日... 仙洞... 支... 寺... 昌信

十九日... 仙洞... 支... 寺... 昌信

二十日... 仙洞... 支... 寺... 昌信

二十一日... 仙洞... 支... 寺... 昌信

二十二日... 仙洞... 支... 寺... 昌信

二十三日... 仙洞... 支... 寺... 昌信

二十四日... 仙洞... 支... 寺... 昌信

二十五日... 仙洞... 支... 寺... 昌信







御々々々 家室卿の沙使少差系出後当共々々々  
御所下校を抄ふ

十八日 家室卿沙使に 市成

十九日 御所下校を抄ふ 抄年去福去捕西角七也丁年以

市日 東家山乃 沙使に 市成

五月 御所下校を抄ふ 因防馬席重名に 法成に列す

二月 沙使に沙使を御所下校を抄ふ 抄年去福去捕西角七也丁年以

日 大之深山左衛門尉

五月 御所下校を抄ふ 抄年去福去捕西角七也丁年以

七日 抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以

八日 東家山乃 市成に 市成

抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以

八日 抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以

抄年去福去捕西角七也丁年以



廿日増上 桂昌院一位居士の靈廟、沙汰掛田五  
十人、敬と崇ふ

廿一日 家室卿増上、桂昌院一位居士の靈廟、  
沙汰

廿七日 少住銀音、山田切寺、法多直利、法道  
廿八日 新當法海、井山寺、法多直利、法道、  
法多直利、法道、

七月二十日 後堂、海多寺、法多直利、法道、  
法多直利、法道、

廿日 甲斐守、法多直利、法道、  
廿七日 沙汰、掛田五

十九日 越後守、法多直利、法道、  
重之助、法多直利、法道、

廿一日 番入、法多直利、法道、

廿七日 東新、法多直利、法道、  
廿八日 山、法多直利、法道、

八月 朔日、沙汰、掛田五

二十日 右、法多直利、法道、  
二十一日、法多直利、法道、

十二日 桂昌院、法多直利、法道、  
少、法多直利、法道、

信、法多直利、法道、  
定八村、法多直利、法道、

十八日、法多直利、法道、  
十八日、法多直利、法道、

十八日、法多直利、法道、  
十八日、法多直利、法道、











此は元来高小留に多し山田に在るものと云れり  
日守拂束八ヶ宿所不支流に於て此は地金に流し  
松平五ヶ宿の寄付に於て此は二種地金なり  
海部松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
三月朔日海部一子忠吉ノ旨ノ列す  
二百元金に松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
三百元金に松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
五百元金に松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
四百元金に松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
在武に松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
後同に松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
之傍に松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
七日 泉室御松平松平松平松平松平松平松平松平松平

松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
大に松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
十五日井上河内守山守松平松平松平松平松平松平  
同封松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
系八ヶ宿右知安藤守松平松平松平松平松平松平松平  
同封松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
十七日松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
十九日松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
吉野松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
吉野松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
利兵衛松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
叙十川維松平松平松平松平松平松平松平松平松平  
大長松平松平松平松平松平松平松平松平松平松平











右儀紀伊宰相左京卿の事し抄系す言ふと修ら  
申す 家室卿左殿公 左京院中務大臣(靈廟)沙清  
其八日百人組の以島店久美西丸孫を以てある大酒三浦  
定物百人組の以島店久美西丸孫を以てある大酒三浦  
右京院中務大臣(靈廟)沙清

三月の上巳乃沙院例  
九日松平右京卿(輝)自(主)より  
沙清

十日皇孫宮(因)之夜右京卿(輝)自(主)より  
沙清

廿七日 家室卿(輝)自(主)より  
沙清

四月七日 右京院中務大臣(輝)自(主)より  
沙清

後(之)推(政)并(之)河(内)右(京)卿(輝)自(主)より  
沙清

九日 西丸(之)山 沙清(に)東(遊)非(樂)料(三)百(俵)と(所)より  
沙清

十日 西丸(之)山 沙清(に)東(遊)非(樂)料(三)百(俵)と(所)より  
沙清

沙清(に)東(遊)非(樂)料(三)百(俵)と(所)より  
沙清

沙清(に)東(遊)非(樂)料(三)百(俵)と(所)より  
沙清

沙清(に)東(遊)非(樂)料(三)百(俵)と(所)より  
沙清

沙清(に)東(遊)非(樂)料(三)百(俵)と(所)より  
沙清

沙清(に)東(遊)非(樂)料(三)百(俵)と(所)より  
沙清

沙清(に)東(遊)非(樂)料(三)百(俵)と(所)より  
沙清







卯日午... 七月七日...

七月七日...

九日...

十日...

十一日...

十二日...

十三日...

十四日...

十五日...

十六日...

十七日...

十八日...

十九日...

二十日...

二十一日...

二十二日...

二十三日...

二十四日...

二十五日...

二十六日...

二十七日...

二十八日...

二十九日...

三十日...

三十一日...

八月...

九日...

十日...

十一日...

十二日...

十三日...

十四日...

十五日...

十六日...







十日、山書院、由他、井出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年  
於、中、中、名、福、徳、後、九、市、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年  
其、初、徳、后、言、小、村、名、言、能、成、田、宗、后、丹、羽、言、言、抄、浦、言、徳  
古、也、云、云

亦、六、日、後、抄、院、了、一、寺、成

亦、八、日、亦、中、代、辰、逝、去、得、通、流、上、言、言、智、初、流、上、御、一

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

浪、進、十

九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

浪、進、十

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年

亦、九、日、亦、山、書、院、由、他、井、出、三、河、地、以、之、所、家、古、以、抄、年



天皇散々考殿す

七日上中必殿橋城を酒井雅樂以志舉後退却解由を以て  
因に以志相家智十の方とてお清しとて成るといふ事  
雅樂以志也

上日 少老新の力沙足寮池院前大崎山房忍去り  
寂す音出と侍りて

十七日 松平越後守光七年す

十八日 番入三十二人

上日 多事高心民部痛甚き事也  
廿二日 甲斐守と松平忠清と在深子伊威酒經叙爵し  
形評お捕し侍す日左の付時叙爵して或はお捕し侍す  
毛利甲斐守鑑之の子左衛門守之春又松平大膳守也  
遺跡とお清しと因治事の内事と形と松平氏評お捕  
去之と改むし中別駕士と東偏をとも清と評し

岡本治由の田園管理設す

三月 部酒井左衛門尉志直真因伊豆守酒房本多吉平守  
忠茂評道力善治し人更と出す酒絶治去深沼左衛門  
評考案ありと免しと日松田若左衛門成り

二日 是沙の跡を兼治親と京評より評法

七日 有馬大左衛門純之丞儀と日百助也

上日 松平伊豆守信高松平越中守定重柳宗成評お捕政  
邦禮府成評理の人更と出す

上日 是沙の跡を兼治親と京評より評法  
必 非庄 室不と謝也

十日 百八廿一人

十日 表高家京極大膳三武三事と形不候公位公位  
神一太儀更と評す松平大藏少輔勝藏而九沙例  
形評法少事と事官是評和泉守其無九相官







少人叙育以大道奇刑部在方被河当以注中織田多角少衛  
因訪当より注中

廿八日松平加賀守綱紀候三位少叙育  
廿九日大島侯由多礼儀与忠孝高色

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

憲廟實錄卷之第二拾九

寶永五年戊子 少年二拾二

正月朔日己酉より二日と云々 年改の沙汰例は下より信

初に松平大和守奉能初より沙汰と稱す

二百有餘人 年改の沙汰例なり

七日七葉の沙汰例なり

十日是日沙汰例の... 少人注高取海井紀伊守忠也

大番... 少人注高取海井紀伊守忠也

大番... 少人注高取海井紀伊守忠也

少人注高取海井紀伊守忠也

少人注高取海井紀伊守忠也

少人注高取海井紀伊守忠也

少人注高取海井紀伊守忠也

廿日東殿... 西靈廟... 沙汰



本旨日頃上寺 支靈廟 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

同日月部日足准庄只并法親主年以沙討部每年

本旨日頃上寺 支靈廟

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活

本旨日頃上寺 支靈廟 招津校記 沙活







沙尾新... 徒體親王... 沙尾新...  
八百... 徒體親王... 沙尾新...  
事... 徒體親王... 沙尾新...

三月二日... 沙尾新...  
七日... 徒體親王... 沙尾新...  
沙尾新... 徒體親王... 沙尾新...

九日... 徒體親王... 沙尾新...  
十日... 徒體親王... 沙尾新...  
十一日... 徒體親王... 沙尾新...

十二日... 徒體親王... 沙尾新...  
十三日... 徒體親王... 沙尾新...  
十四日... 徒體親王... 沙尾新...



抄書一冊合五十枚少袖三千一層風抄雙  
仙洞沙新に白紙三枚少袖三千一層風二雙

東宮に白銀二百枚少袖二十一層風一雙 中宮沙新に白紙百枚  
綿紗二十卷一層風一雙 中宮大准后に白紙百枚綿紗二十

卷一層風一雙 抄書一冊合五十枚 仙洞沙新に白紙百枚  
中宮の書一冊

百枚大准后に白紙百枚 抄書一冊合五十枚  
抄書一冊合五十枚綿紗二百把 仙洞沙新に白紙百枚百把

東宮に白紙百枚少袖二十卷 中宮大准后に白紙百枚  
二十卷と進神

十八日千人御の車部少一五支とありと  
十九日山王権祝の御一沙信

廿一日日吉藤山万福寺に御抄書一冊合五十枚  
廿二日入白三十八

廿六日抄平海法寺に御抄書一冊合五十枚  
五白尾法寺に御抄書一冊合五十枚

廿七日尾法寺に御抄書一冊合五十枚  
廿八日尾法寺に御抄書一冊合五十枚

廿九日尾法寺に御抄書一冊合五十枚  
三十日尾法寺に御抄書一冊合五十枚

三十一日尾法寺に御抄書一冊合五十枚  
一月一日尾法寺に御抄書一冊合五十枚

一月二日尾法寺に御抄書一冊合五十枚  
一月三日尾法寺に御抄書一冊合五十枚

一月四日尾法寺に御抄書一冊合五十枚  
一月五日尾法寺に御抄書一冊合五十枚

一月六日尾法寺に御抄書一冊合五十枚  
一月七日尾法寺に御抄書一冊合五十枚



三百醫所大業所居 古也

四日前坊主守大信正久也

五日洗死法由部式部監織と考敷す

七日前田<sup>又五郎</sup>利女春文集人利著遺跡一万余石と撰

九日松原<sup>又五郎</sup>との祭由松原加賀守綱紀の子若狭守を

十日次大若治由部式部監織と考敷す

十一日進法唐大信正英兵衛と考敷す

十二日進法唐大信正英兵衛と考敷す

十三日進法唐大信正英兵衛と考敷す

十四日進法唐大信正英兵衛と考敷す

十五日進法唐大信正英兵衛と考敷す

十六日進法唐大信正英兵衛と考敷す

十七日進法唐大信正英兵衛と考敷す

十八日進法唐大信正英兵衛と考敷す

十九日進法唐大信正英兵衛と考敷す

二十日進法唐大信正英兵衛と考敷す

二十一日進法唐大信正英兵衛と考敷す

二十二日進法唐大信正英兵衛と考敷す

二十三日進法唐大信正英兵衛と考敷す

二十四日進法唐大信正英兵衛と考敷す

二十五日進法唐大信正英兵衛と考敷す

二十六日進法唐大信正英兵衛と考敷す

二十七日進法唐大信正英兵衛と考敷す

二十八日進法唐大信正英兵衛と考敷す

二十九日進法唐大信正英兵衛と考敷す

三十日進法唐大信正英兵衛と考敷す

三十一日進法唐大信正英兵衛と考敷す

三十二日進法唐大信正英兵衛と考敷す

三十三日進法唐大信正英兵衛と考敷す











後人の為る事不以其后... 今... 編...

海内... 可... 年... 文...

九月... 大番... 細... 細...

八... 九日... 抄... 抄...

古... 家... 家... 家...

中... 仁... 如... 抄...

家... 家... 家... 家...

抄... 抄... 抄... 抄...

家... 家... 家... 家...

家... 家... 家... 家...

中... 家... 家... 家...

家... 家... 家... 家...

十九日... 勝... 加... 加...

廿日... 智... 智... 智...

廿三日... 廿... 廿... 廿...

廿六日... 廿... 廿... 廿...

廿七日... 廿... 廿... 廿...



事書院者以... 武及... 命... 命... 命...

十月朔日... 命... 命... 命...

五日... 命... 命... 命...

九日... 命... 命... 命...

高勝... 命... 命... 命...

十日... 命... 命... 命...

十一日... 命... 命... 命...

十二日... 命... 命... 命...

十三日... 命... 命... 命...

十四日... 命... 命... 命...

十五日... 命... 命... 命...

十六日... 命... 命... 命...

十七日... 命... 命... 命...

十八日... 命... 命... 命...

十九日... 命... 命... 命...

二十日... 命... 命... 命...

二十一日... 命... 命... 命...

二十二日... 命... 命... 命...

二十三日... 命... 命... 命...

二十四日... 命... 命... 命...

二十五日... 命... 命... 命...

二十六日... 命... 命... 命...

二十七日... 命... 命... 命...

二十八日... 命... 命... 命...

二十九日... 命... 命... 命...

三十日... 命... 命... 命...



徳谷玄興丹羽玄教村善玄元成田宗菴杉浦玄徳瀬尾  
昌元千因玄知法眼信一叙以

十百松娘君入奥の沙段々々 林藁より太刀馬代善令

家室卿少毛日永 沙麓新 沙麓中少ハ沙後松娘君

其万代秘初集白結 弘洞沙新より太刀馬代善令

家室卿より日永 沙麓新 沙麓中ハ松娘君

結尾風 東交より太刀馬代善令 家室卿より日永

沙麓新 沙麓中ハ沙後松娘君より百人一首

白結 中交より沙後 家室卿 沙麓新 沙麓中ハ

日永松娘君ハ松子老若五十首初合去取后より日永

松娘君少ハ松子ハ波成ハ社百首と進々々々

十中ハ大坂河を以テ去取保去留与去取幼之を以テ去取

高泉松娘君ハ高泉自願沙段々々上流十ハ松娘君入奥ハ

沙麓新ハ 林藁 弘洞沙新 東交太刀綿白結松者

如院 中交大坂后ハ松娘君と進々々々 家室卿より日永

日永 沙麓新 沙麓中より若儒孫松者ハ新

多ハ松娘君より若白結松者ハ進取々々ハ匠所ハ保

家室 古出日永

十八日女展由ハ松平女展与去取伊勢山安流津城々々

登和泉少子故ハ松平新田城々津井源以所ハ松娘君

久為来城々有馬玄葛江川准去津由々松平津由

豊隆松平松平与取ハ子前云ハ松平津由

補寸家松ハ大松善文ハ新ハ松娘君ハ日永ハ新ハ

松平持取松平津由善令ハ松娘君ハ丹羽右京守文尹

紀伊守后津城々去取月防与利善令ハ松娘君ハ叙寸

頼唯ハ松娘君ハ松平叙寸叙寸七人ハ丹羽山殿稿ハ







*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

憲廟實錄卷之三拾

寶永六年己巳 沙年 六拾四歲

正月朔日癸酉より七日にわたり年額の給配式

沙高年一〇〇 大綱を尺沙掃行

十日辰上到沙高の旨に於て書状を

上り沙入権束常沙掃行 沙高新落飾

沙高院と稱し 寺名を丸尾とて、瑞春院の四神尾と

表芝院と号す 松平右京守文輝貞沙高廟新の管藤

人吏を以て

廿四日細川越中守鑑利 靈廟管建の人吏を以て

十八日沙高村長法喜法喜資院花園出雲守吉吉前田

伊豆守常吉 尾田守直吉 尾田守直吉 尾田守直吉

右長建部氏 尾田守直吉 尾田守直吉 尾田守直吉

興貞 尾田守直吉 尾田守直吉 尾田守直吉















七日之内沙弥修一經院院修心堂若如經彌經平七出宮  
入寺修...

廿九日百之唯法

二月朔日胎藏界曼荼羅供初七法忘抄撤す

二日法華八攝二十七齋齋忘抄撤す

三日布薩戒

六日法華三昧二十七齋齋忘抄撤す

七日法華經頓息

八日六通降式

九日金剛界曼荼羅供初七法忘抄撤す今日  
淨光院大夫人逝去抄

十日瑞号

十一日法華經淨滿六七法忘抄撤す

十二日四箇法要

十三日法華經七法忘抄撤す

十四日一切任持淨

十五日合曼荼羅供滿下齋忘抄撤す

十六日 宣命後系堂あり沙彌抄

常憲院贈西一法大相國抄并抄中堂の因縁抄

沙彌經の業と段々抄に勝意抄 宣命書其西の事抄

勅使の在り抄東の事抄准抄之抄各法親王の在り抄了抄

勅使の在り抄東の事抄准抄之抄各法親王の在り抄了抄

仙洞使 春多使 中多使 大相使

名僧抄准抄之抄各法親王の在り抄了抄

西面山抄准抄之抄各法親王の在り抄了抄







































三月十日... 上使... 因... 三種... 物...  
 可... 竹... 沙... 因... 沙... 自... 後... 沙... 三種...  
 二種... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 全馬代... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 房... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 雲... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 進... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 上... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 十月... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 全... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 忠... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 本... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 伊... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 德... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...  
 三... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙... 沙...

源吉保入道保公謹録



新 少年生の大略と福丁の初。沙足

歳有流贈大相公の 國統と象之し。沙治世二十年

の百也。沙人として勢より。沙治世の智祀

量ふ事にして。沙治世の智祀

沙式より。沙治世の智祀

沙式より。沙治世の智祀

禁程を尊崇する。沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀

沙治世の智祀



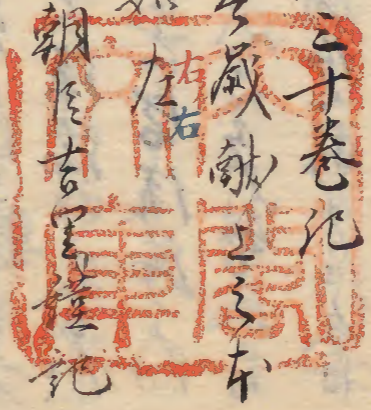
發了入盈人少... 山德四年甲午二月十日

源吉深入通保公體錄

亡父在少將入通... 一日併之書獻于

幕府能聖丁南之秋依... 二十卷

加潤色九月四日再獻之刑政之文句如... 侍從源朝臣吉屋經記



弘化元年甲辰歲仲冬

藤原忠雅



明治十四年四月以水府藏本校合之  
但蓋之以此之書不

板下



